

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 9月 6日 更新

事務事業名		文化芸術自主事業実行委員会支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	10	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	植田 恵
	施策の柱	38	生涯学習団体の育成			所属班	生涯学習班	(内線)	1506
予算科目		会計一般	款10	項5	目6	事業連番11517	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨	
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	自主事業実行委員会を組織し、年間の事業の企画立案・事業の実施を行った。平成7年11月に総合センターのオープンに伴い、文化会館の活用と文化芸術の振興を目的に自主事業が始まっている。平成7年11月から文化会館の活用と文化芸術の振興を目的に自主事業が始まり、実績は十分であるが、合併に伴う対象人口の増加、啓発手法の変化に伴い、合併初年度は来場者数減少の現象が見られた。また、ジャンルによって入場率にばらつきが見られる。
【業務の流れ】	自主事業実行委員会の組織、年2回程度の実行委員会会議の開催、企画・立案、事業の実施、会計監査、事業実績報告書の作成・検証。
【主な予算費目】	3 職員手当 19 負担金補助及び交付金
【意見や要望】	来場者にはアンケートで調査するが、年齢層によって要望のあるジャンルは様々である。また広報・周知の方法や公演時間の意見もある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) 例年、年7公演程度の自主事業を実施している。本年度も事業の実施を計画していたが、熊本地震による施設被災のため1事業を実施した。3月に子ども劇団公演を開催した。		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 自主事業実行委員会を開催し、ヴィーブル利用再開後の自主事業の取組について検討。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 開催数	回		
⇒ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民	人	⇒ ア: 市内の人口	人
⇒ イ:		⇒ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
市民が文化芸術活動に興味を持つ場を提供する。	人	⇒ ア: 興味を持った人数(入場券購入者数)	人
⇒ イ:		⇒ イ:	
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 市民が興味を持つような催しを開催できたかを判断するため。目標値は会館の客席8割を見込んだ値。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	回	7	2	2	1	5	7	7	7
	イ									
② 対象指標	ア	人	59,200	61,022	60,900	61,652	61,500	62,000	62,500	63,000
	イ									
③ 成果指標	ア	人	3,680	980	900	796	2,500	3,000	3,300	3,300
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	6,185	6,000	6,000	6,000			
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	6,185	6,000	6,000	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	6,185	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	185	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	1	7	3	7	0	0
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	0	990	0	430	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	0	0	1,701	0	0	0
		千円	6,185	6,000	6,000	1,701	6,000	0	0	0

事務事業名	文化芸術自主事業実行委員会支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 平成28年熊本地震による総合センターの災害復旧工事のため、自主事業を開催できる施設が限られたため、実施数が減った。
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 文化会館再開後の自主事業の在り方を検討しながら、実施する。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 広報周知の更なる努力を図り、集客の向上に努めなければならない。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 補助事業等を活用し採択を目指す。 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 技術管理委託により、高度な舞台技術操作と職員の勤務時間の軽減を図っている。熊本地震前の実績を検証し、目的に沿った業務充実を実現する。 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 実施計画についても、情報の収集により適正に進め、全市民を対象に啓発し、入場者の意見聴取した上で実施している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 催物の主催者として行政が実施しているもので、公演の内容や、出演者との交渉等については他団体に委託して行なっている。

3 評価結果の総括（CHECK）

市民の文化意識の高揚に勤めるために他団体の補助事業の活用や、地元で活躍する団体を主とした公演など事業費をかけない事業の実施を図る。主に公演場所となる文化会館のキャパが約600名なので、事業内容の検討もする必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策